

広報

いまり

No.425



ワーイ、およげるぞー!!

1年生も元気に水しぶきをあげました。

松浦小学校のプール開き(関連記事14ページ)

'89

7

月

〈人口〉男28,964人 女32,320人 計61,284人(前月比-27)〈世帯数〉17,314世帯(6月1日現在)

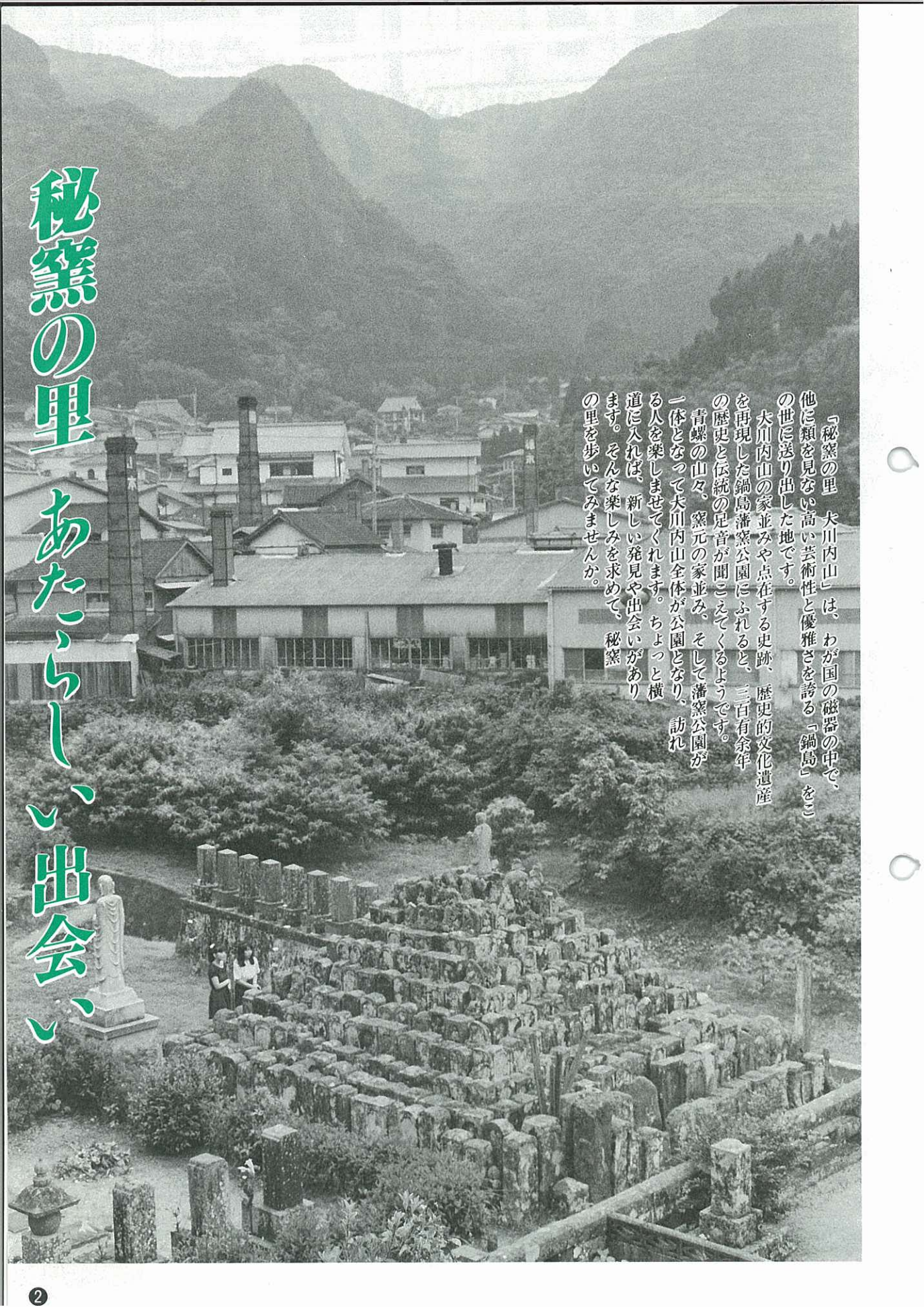
秘窯の里

あたらしい出会い

「秘窯の里 夫川内山」は、わが国の磁器の中で、他に類を見ない高い芸術性と優雅さを誇る「鍋島」をこの世に送り出した地です。

大川内山の家並みや点在する史跡、歴史的文化遺産を再現した鍋島藩窯公園にふれると、三百有余年の歴史と伝統の足音が聞こえてくるようです。

青螺の山々、窯元の家並み、そして藩窯公園が一体となって大川内山全体が公園となり、訪れる人を楽しませてくれます。ちよつと横道に入れば、新しい発見や出会いがあります。そんな楽しみを求めて、秘窯の里を歩いてみませんか。



「鍋島」に命をかけた陶工たち



大川内山へのなだらかな坂道を登って行くと、南斜面の高台に陶工たちが眠る無縁塔があります。そこからは、青螺山の大屏風奇岩と濃い緑に包まれた窯元の家並みが一望できます。

レンガ造りの煙突から出る窯の煙や自然に溶け込んだ家並みから「秘窯の里 大川内山」を実感することができます。それは、大川内山のたたずまいと、「鍋島」様式に代表される伊万里焼に300有余年の歴史と伝統が、今日に受け継がれているからです。それでは、その歴史を訪ねてみましょう。

314年前に大川内山へ

今をさかのぼること314年。延宝3年(1675年)、有田町の南川良から大川内山へ鍋島藩窯

が移されました。格調を誇る藩御用品「鍋島」の最高の技術が他に漏れるのを防ぐためと、大川内山に優秀な青磁釉原料や陶石などがあったことなどが、藩窯を移した理由だといわれています。この延宝3年から明治4年(1871年)の藩廃置県までの196年間、大川内山で藩窯が営まれ、数々の名品を世に送り出したのです。

陶工は質素な生活

享保年代(1716~35年)に入ると藩窯御細工場の組織と運営の体制が整備され、職制と作業内容が分業化されました。御細工場は、細工方11人、画工9人など31人の御細工人で構成され、この体制は明治4年、藩窯が解体するまで続けられました。

鍋島色絵秋海棠水仙図皿 製作年代1688~1703年 (栗田美術館所蔵)

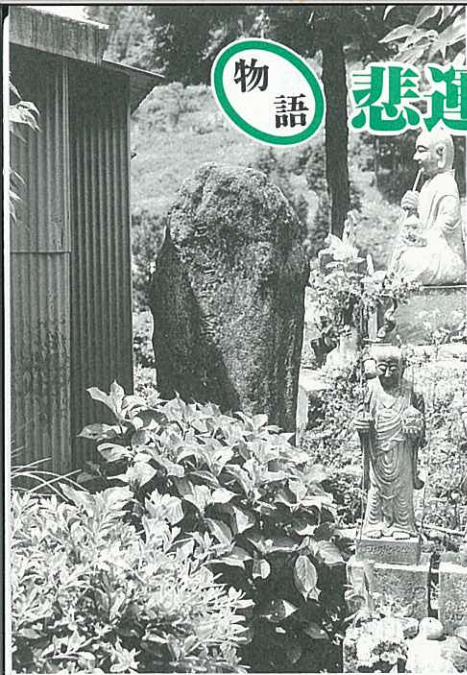
陶工たちは、このように分業化された体制と厳しい監視の中で「鍋島」を作り続けました。彼らの日常生活は、他とのつきあひも許されず、「衣服は目立つものは用いず。食事はむぎめし。冠婚葬祭は身近かな親族に限る」など、こと細かく定められ、質素な生活でした。

藩窯の歴史は、御用窯跡、藩役宅跡、細工場屋敷跡などやこれらの歴史的文化遺産を再現した「鍋島藩窯公園」に、その面影をしのぶことができます。

大川内山に足を一步踏み入れると、「鍋島」に命をかけた陶工たちの熱い息遣いが伝わってくるようです。



案内・秘窯の里見て歩き



◎副島勇七の供養碑

副島勇七は、今から200年ほど前の天明（1781～88年）のころ、大川内山の御細工場で、ろくろ細工の名工として働いていた。ろくろのほか彫刻、ひねり細工、青磁づくりなどにも一流の腕前を持つ職人であった。

細工人は、藩の命令で軟禁状態の生活を強いられていたが、

名人気質の勇七は、しばしば藩命に従わなかったため禄を没収され、御用職人の資格も奪われた。勇七はついに脱藩して行方をくらまし、諸国の製陶地を遍歴して、四国は伊予（愛媛県）の砥部焼きの窯場に落ち着き、職人たちの指導にあたった。

藩窯の秘法が漏れるのを恐れる鍋島藩は、勇七捜しに八方手をつくし、砥部に潜んでいるのを突き止め、藩に連れ戻した。勇七が大川内山から姿を消して3年目だったという。秘法を漏らした罪で、寛政12年（1800年）12月28日、佐賀嘉瀬の刑場で処刑され、大川内街道の鼓峠にさらし首となった。藩命の犠牲になった勇七は、まさに悲運の名工である。

昭和45年11月、金仙窯の金武昌人氏が勇七慰霊の供養碑を建立。供養碑は、今も権現宮の参道脇にひっそりと立っている。

秘法漏えいを監視した関所



鍋島藩窯が大川内山に移された理由の一つに、大川内山が秘境の地であったからといわれています。周囲を山に囲まれ、背後は岩々がそそり立つ青螺山にふさがれて人々の往来を拒み、「鍋島」の秘法を守るのに絶好の地だったのです。

藩窯の入り口には関所を設け、御用人らの出入りや他国からの

潜入者を厳しく監視しました。

関所がいつ造られたか不明ですが、場所は鍋島藩窯橋から70㍍ほど行った所にあったようです。現在は大川内山の入り口に関所が再現されています。

関所から陶工の庭に架けられた陶工橋を渡ると、焼き物の風鈴「めおしの塔」が優雅な音色をかきかせてくれます。陶工の

無名陶工が眠る 無縁塔

再現された関所の前を通りすぎたあたり、左手（権現川の右岸）高台の墓地の一角に、ピラミッド型の寄せ墓が見えてきます。それが陶工たちの無縁塔です。

大川内山出身の市川春吉さん（昭和44年、80歳で死去）が昭和12年、今は訪れる人もなく、さみしく雨風に打たれる無縁墓を見てあわれに思い、一堂に寄せて霊を慰めたいと大川内山区に申し出ました。区民一同感激して協力し、13年4月、現在地に建立されました。

無縁塔の最上段には観世音菩薩が安置されています。寄せ墓の中には、宝永（1708年）ころからの墓碑もあり、その数880余基。大川内山の窯の炎が今日まで絶えなかったのは、「鍋島」に一生をささげた無名陶工らの血のにじむ苦勞のおかげともいえます。



◎めおしの塔

庭では、昔ながらに水を利用して陶石を砕く「唐臼からうす」が、のどかな音を秘窯の里にこだまさせています。



○日峰大明神祠

鍋島藩御用窯

藩窯は、階段状連房式登り窯で、延長137間、窯室は27～30室ぐらいと推定されていますが、地元では33室あったとの言い伝えもあります。藩専用の窯室は中央の第11～13室の3室で、そのほかはすべて御手伝窯（民窯）として使われていました。

藩祖を祭る

日峰大明神祠

藩祖・鍋島直茂公を祭った日峰大明神祠は、キャンプ場の入り口付近から東（左）へ、杉林と武者返しのようにそりかえった岩壁の下を通り抜けた所にあります。

安政7年（1860年）に再建されたもので、台石には藩窯最後の御細工人・柴田作左エ門、副田喜右エ門などの名前が刻み込まれています。



大銀杏

藩役宅跡の近くに、樹齢400年、幹回り537㎝の大銀杏が立っています。藩窯の歴史や陶工たちの生きざまなどを見守ってきました。これからも大川内山の生き証人として、新しい歴史を見守り続けるでしょう。



○鍋島青磁鎌を差す牛大香炉
製作年代

(1673～1680年)

(栗田美術館所蔵)



○唐臼小屋

高麗人の墓

鍋島藩御用窯跡の向かい側の権現谷に高麗人墓と陶祖碑があります。碑面には「寛文九…」、「万治三…」の文字が読みとれます。寛文九年は1669年、万治3年は1660年で、藩窯開設より15年も前のことです。このことにより、藩窯以前に高麗人などの手により民間の窯があったことがうかがえます。藩窯開設の延宝3年（1675年）以前の刻銘のある石塔などは、大川内山ではこれだけだそうです。



○高麗人墓（左）と陶祖碑（右）

藩窯の歴史がよみがえる

鍋島藩窯公園

市街地から南東に6km。三方を、山水画を思わせる切り立った屏風岩に囲まれた窯元群。家並みの中に顔をのぞかせるレンガ造りの煙突や、細い坂道の両側に並ぶ窯元の家並みが、まさに自然と一体となって「秘窯の里」の風情を醸し出しています。

この窯元の家並みと清源川を挟んだ対岸の丘陵地に、鍋島藩窯公園が静かなたたずまいをみせています。鍋島藩窯として栄え、300有余年の歴史が誇る土と炎の芸術「伊万里焼」のすべてが公園の中によみがえり、歴史と文化が香り高く息吹いています。

この藩窯公園は、大きく分けると「展望ゾーン」、「やきものゾーン」、「歴史・文化ゾーン」の三つのゾーンで構成され、いろいろな角度から、窯元の家並みと自然が溶けあって作り出す「やきもの里」の情景を楽しんだり、陶工たちが築いてきた大川内山の歴史を散策できる公園になっています。

展望ゾーン

公園頂上の展望台からは煙たなびく窯元の家並みと、大屏風奇岩の大自然が一望できます。

広場入り口の「大壁画」は、高さ5m、総延長28m。陶片とトンバイで登り窯をアレンジした壁画は、陶工の魂を表わした大パノラマで、訪れた人の目を見はらせます。



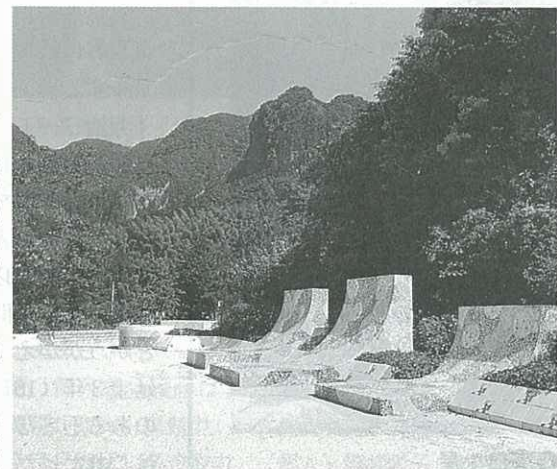
◎頂上に建つ故森永杉洞老師の句碑
「薫風や色鍋島の色に酔ふ」



◎陶片を利用したやきもの広場

やきものゾーン

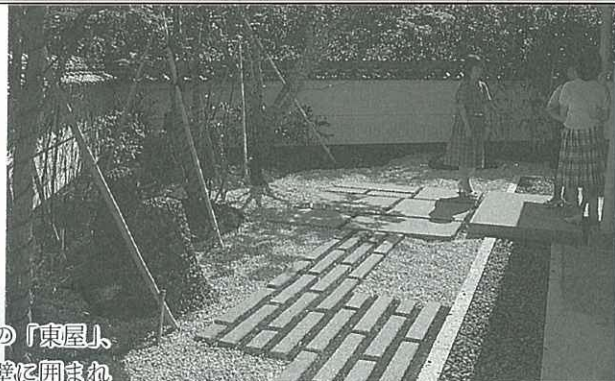
やきものゾーンにある広場。艶やかな色鍋島、深くきらめく鍋島青磁、優雅な落ち着きをみせる鍋島染付の伝統を受け継ぐ伊万里焼の陶片約4万個を細かく砕いて利用しています。このやきもの広場は、世界的に有名なスペインの天才建築家アントニオ・ガウディが造ったグエル公園をイメージに描いて、陶片を使って造られたものです。



歴史・文化ゾーン

陶工にまつわる生活用品を展示する「陶工の家」や、陶工たちが仕事をしている様子がわかり、ロクロや絵付けの実技もできる「御細工場」が設けられて

います。木立ちの中の「東屋」、「休憩所」からは白壁に囲まれた「日本庭園」が望まれ、訪れた人を心ゆくまでなごませてくれます。



◎日本庭園 ◎天神橋

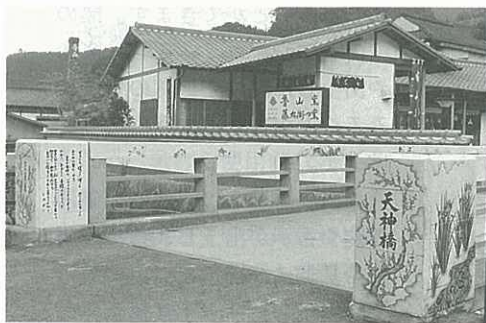
窯元と結ぶユニークな橋

窯元から日本庭園へ渡るトンバイ橋。トンバイとは登り窯で使われる焼きレンガのこと。川岸には鍋島の伝統的な図柄をデザインした陶板を張り、自然石で水の流れを作り、風情のある橋からは、四季折々の自然が心をなごませてくれます。

天神橋は、色絵の陶板と、大川内山をうたった詩がかかれた陶板で飾られています。

これは、天神橋を「やきもの里」にふさわしい橋にと、故小笠原利夫さんが、自分の工場で焼いた陶板で橋を飾られたものです。

陶板の詩は、伊万里市出身の詩人、片岡繁男さんの「わたしはいつもここに帰ってくる」と題した長編詩の抜粋が書かれています。



◎トンバイ橋



二つの古窯跡

おきょういし 御経石窯跡

連房式の登り窯で、胴木間（窯のいちばん下にあたる最初に火をたくところ）から、窯尻（窯のいちばん上で最後のところ）まで約47ぶたで、13の窯室があります。中ほどの所でゆるく曲がっていますが、これは各窯室間で火を遊ばせ、焼成のむらをなくすため意識的に造られたものだそうです。

この窯跡からは、磁器の碗や陶器の碗、皿が出土しています。磁器の9割近くが染付網目文の碗で、陶器はそのほとんどが御器手様の黄唐津の京焼風碗です。高台（器の底部周辺）内に、「清水」や「壺」「森」の刻名があり、楼閣山水文ろうかくさんすいもんが描かれたいかにも京焼風の碗や皿があります。



◎御経石窯跡
◎窯跡から出土した碗



せいげんしも
清源下窯跡

トバイ橋を渡って陶工の家へ向かうと、右手にガラスのシェルターで保護された清源下窯跡をみることができます。窯の壁の一部や、ガラスごしに窯床や出土した陶片を自然のままにみることができるようになっていきます。

この窯跡からは、陶器や磁器の碗や香炉が出土し、特に淡灰色を基調に淡褐色と白色の流水文を表現した練上手(鶉手)の碗は、優れた技術を示しています。

そのほか、高台内に「清水」や「定」の刻印をもつ陶磁碗や牡丹唐草文、葡萄文、山水文を描いた磁器碗が多量に出土しています。



①ガラスのシェルターで保護され自然のままの様子がみられるようになっている清源下窯跡

②清源下窯跡からの出土品

藩窯以前に操業か？

御経石窯跡と清源下窯跡は、出土した陶磁器の形態から、同じ時期に操業していたものと考えられます。ともに磁器を主体として若干の陶器を焼いたようです。

出土した「清水」の刻印と類似する刻印をもった陶器の出土例が、千葉県や京都府、大阪府

などにもあり、それらはいずれも17世紀後半のものだと考えられます。一般にいわれるように、藩窯移転(1675年)以降、民窯が独立して並行操業することが認められなかったとすれば、藩窯以前に操業していたものである可能性が高く、注目されています。

木工芸センター

ピノキオの家 完成



大川内山側の腰岳中腹にある「森林とのふれあい広場」に木工芸センターが完成し、7月1日にオープンしました。

木工芸センターは、子どもたちが丸太、木片、竹などを材料

に思い思いに木工品を手づくりできる施設で、物をつくる楽しみや冒険心を通して、新しい発見や友達との出会いの場です。

木工芸センターの愛称を童話「ピノキオの冒険」にちなんで



「ピノキオの家」と名付けました。子ども会、小グループ、家族連れなどで利用できます。

●使用日 土曜日、日曜日、祝日、学校の休業日(夏休み、春休み)。ただし12月25日～1月9日の間は休みます。

●使用時間 10時から16時まで

●使用料 小学生以上 100円
(材料費は個人負担です)

※問い合わせは、市森林組合(☎3398)か市役所農林水産課林務係(☎2111内線374)へお願いします。

平成元年第2回定例市議会

伊万里・オランダ
フェスティバル '89

8月3日～12日開催

伊万里市議会第2回定例会
が、6月5日から20日まで16
日間開かれました。提出され
た条例議案4件、補正予算議
案4件など18の議案が審議、
可決されました。

また、3月議会で継続審査
になっていた老人福祉センタ
ーや霊きゆう車などの使用料
条例が可決され、7月1日か
ら改定されます。

一般会計補正予算は、3,643
万円を追加し、予算の総額が
151億1,643万円になり、前年
同期に比べ6億6,612万円増え、
4.6%の伸び率となりました。

今回の補正の主なもの、今
年が日本とオランダの修好380
周年に当たり、古伊万里を通し
て両国は深い関係があり、市制
施行35周年記念事業として「伊
万里・オランダフェスティバル
'89」を8月3日から10日間開
催しますので、これに要する経
費1,136万円を追加しました。

農業経営者の育成を図るため、
指導農業士をヨーロッパへ派遣

する海外派遣研修事業費補助金
として40万円を追加しました。

女みこしの会・婦人

防火クラブ等へ補助金

コミュニティ助成事業として、
伊万里女みこしの会、市婦人防
火クラブ連絡協議会への補助金
400万円、森林とのふれあい広
場の木工芸センターの管理業務
委託料100万円を追加しました。

条例議案では、木工芸センタ
ーを7月1日から、東山代運動
広場を9月1日からオープンす

るため、名称や使用料などを条
例で決めました。また一般議案
では、新伊万里中学校建設用地
6万1,413.34坪を市土地開発公
社から5億725万2,629円で取
得することにしました。

3特別委員会を設置

今回の議会で、企業誘致対策
特別委員会、農業振興・農道離
着陸場対策特別委員会、伊万里
駅周辺開発・交通対策特別委員
会が設置されました。

委員会の構成は、7月15日の
市役所だよりでお知らせします。

28
1
2



厚生年金センターから秘窯
の里大川内山にいたる基幹林
道腰岳・青螺山線には「伊万
里富士千本桜」が植えられて
いるが、いまひとつポイント
となるものが欲しいと昭和六
十三年から「森林とのふれあ
い環境整備対策事業」が始め
られた。

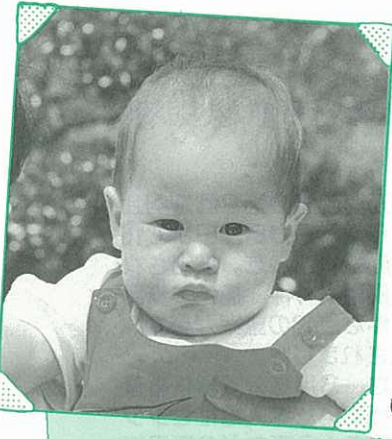
その概要は昨年二月の「せ
いら」で紹介したが、その中
のハードな施設の中心となる
「伊万里市木工芸センター」
が七月一日落成した。

木工芸は学校教育のクラブ
活動や家庭における日曜大工
などでも体験できるが、そう
いう中では体験のできない、
人と人とのふれ合いを大切に
する学習を森に囲まれた自然
の中で行おうというもので、
物を造る楽しさも倍加するに
違いない。

すぐ近くには焼き物の細工

この木工芸センターによっ
て子どもたちの夢が実現し、
その想像力が大きく展開する
ことになれば幸いである。

(竹内)



★ わが家のPOPOPO ★
 徳永 美幸ちゃん
 (1歳1か月)
 義光・町子さんの長女
 私は女の子です。三つになる
 お兄ちゃんに負けないくらいに
 ワンパクです。…思いやりのあ
 るやさしい女の子に育ててほし
 いですね。(東山代町浦川内)

ほほえみ
 ひろは★
 この広場はみなさんのページです。
 あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

滝野小・中 磁器食器で給食 温くておいしいよ

東山代町滝川内の滝野小・中
 学校(原田正敏校長、67人)は、
 5月8日から市内で初めて磁器
 製食器を使った給食を始めてい
 ます。

市の学校給食は、4か所の給
 食センターで調理し、配送車で
 各学校へ届けていますが、同校
 は給食センターから遠いため、
 学校で調理、同校自慢のランチ
 ルームで小、中学生と先生の全
 員がいっしょに食事をします。

これまでのアルミ製食器

は、熱い汁のとき
 などは持ちにくく、
 焼き物の強化磁器
 に替えたもので、
 波佐見町で製造し
 たパン皿、飯わん、
 汁わん、小皿の一
 人前4点をそろえ
 ました。

給食の時間は、各学年が自分
 たちの活動を紹介したり、月1
 回の誕生会をするなど、和気あ
 いあいで家族的な雰囲気です。



◎今日は米飯の日。「パンよりご飯が大好き」(6/13)

磁器食器は「白いので気持ちいい。
 食べやすく、温かくておいしい」
 などと子どもたちには、なかなか好評です。

郷土の文化財

古唐津系で最長 100メートル

椎の峯上多々良窯跡



南波多町府招上の椎の峯「上多々良窯跡」は、長
 さ約100mの階段状連房式登り窯跡であることが、
 市教育委員会の試掘調査で確認されました。

これまで調査された古唐津系の窯跡としては県内
 で最も長く、17世紀初めから半ばまで使われた窯と
 考えられています。同窯跡からは御器手茶わんや青
 海波たたきかめ、すり鉢、とっくりなどが出土して
 います。窯は、雑木林からひのき林へ、東から西へ
 上がり、第3室は幅3.5m、奥行き3.3mで、元和
 2年(1616年)の開窯と伝えられています。

椎の峯では江戸時代初期から唐津焼が焼かれ、最
 盛期には350軒の窯があったといわれ、これまでに
 5基の窯跡が確認されています。

緊急通報システムで

ひとり暮らし老人も安心

市は、ひとり暮らしの老人が安心して暮らせる生活環境づくりの一つとして、緊急通報システムのサービスを6月1日から始めました。

この緊急通報システムは、伊万里情報センターのテレメーターVANを活用し、ペンダント式の発信機のボタンを押せば、近所の第1通報先に設置されたマイタッチのブザーが鳴り、同時にプリンターから発信者の名前や時間を打ち出して連絡するもので、第1通報先が不在のときは自動的に第2通報先、第3通報先（消防署）に連絡が伝わるシステムになっています。



◎二里町の鷹尾さん

今回はモデル事業として、二里町の20人のひとり暮らし老人を対象に行われるもので、年次計画で増やしていくことにしています。二里町東八谷搦の鷹尾初子さん（74）は、「現在病院に通っていますが、これで安心です」と話されました。



杉本かおりさん(22)

波多津町辻（しし座、O型）

波多津保育園で保育をやっています。ほとんど子どもたちといっしょになって遊んでいます。休みの日は洗濯したり、好きな音楽を聴きながらドライブかな。

今やってみたいのは洋裁。知っている人が手作りのウェディングドレスで結婚式をあげられたんです。心がけているのは、いつも笑顔を決やさないこと…。

四季の詩

藩窯を偲ぶ天嶮ほととぎす

船屋町 中島不識洞

男の子女の子にと湯上がりの

浴衣もさまに連れ立ちて来ぬ

鵜田町 村田 妙子



消防災害情報カラー画像に

伊万里CATVが設備寄贈

（協）伊万里ケーブルテレビジョン（池永栄二理事長）から市消防本部にカラー画像の緊急災害情報設備（37万4,000円相当額）が寄贈されました。

現在の白黒画像装置も、昭和57年に同テレビジョンから寄贈されたものです。

視聴者からカラー画像が見やすいとの声があり、それに応えて贈られました。

同設備は、消防本部の通信指令室に設置され、火災、水害などの災害発生時に、場所、災害の



◎寄贈されたカラー画像設備

種類などを24時間体制で即時に2チャンネルで放送。同テレビジョン加入の8,600世帯に災害情報を知らせています。また消防団の出勤や情報収集にも大きく役立っています。

ふるさとさん
こんにちは



大阪市生野区

松尾 國善さん(52)

英子さん

私のふるさととは

伊万里富士と七ツ島

「広報いまり」に出会って約8年。ふるさと伊万里の地で、あるいは全国各地で活躍されている皆さんの様子を知り、喜んでいます。

出身は、瀬戸町の中通です。昭和30年3月、約40人の友達といっしょに集団就職。夕方だったと記憶していますが、父母や学友など地元の人たちの見送りで、伊万里駅を出発した時の思い出は一生忘れられません。

その後34年がたち、大阪に在住し、塗料、接着剤などの販売会社を経営しています。妻（英子）は大阪出身。2人の息子も社会人で、次男が会社を手伝っています。

近ごろテレビで伊万里の様子を見ることがありますが、そんな時は無性に伊万里が恋しくなります。高校卒業まで過ごした伊万里。春、秋は野山を駆け回り、夏は海でのシャコ取りなどなど、懐かしく思い出されます。その後幾度となく帰郷していますが、私の心の中にあるふるさととは、あの美しい姿の伊万里富士・腰岳であり、今はない七ツ島の眺めです。目を閉じれば、ふるさとの自然が鮮やかに浮かんできます。

伊万里をふるさとと呼べる一人として、当地で頑張っている皆さんの力で伊万里がますます発展することをお祈りします。

＜同和教育 No.59＞

心の窓に人権尊重の息吹きを

交通事故で父を亡くした母子3人が、年越しそば一杯を親子ですするところから始まる童話「一杯のかけそば」が、子育てと人々の心の交流を感動的に表した物語として明るい話題になっています。私たちも家庭や地域において、豊かな人間性の育成に心がけなければならないと思います。

1948年の世界人権宣言から今年42年目に当たり、国際連合を中心に、国際的に人権を守ろうという動きが大きく前進しています。

同和問題については、同和对策事業特別措置法ができてから

20年。部落解放運動は、今やそのすそ野を広げつつ、質的にも大きく転換しようとしています。特に昨年1月25日に結成された「反差別国際運動」は、世界の人権闘争と部落解放が連帯した画期的な組織形態で進められているようです。

差別をなくす意志を

社会同和教育の推進は、市と各町の推進協議会がタイアップして、学習による理解と事業の推進が図られています。同和教育は、社会教育の原点といわれています。社会教育活動の中に

正しく位置づけ、あらゆる機会に基本的人権の尊重を基調とする学習をとり入れ、社会の中に根強く残っている不合理な部落差別をなくしていく「意志」と「実践力」を育てていかなければならないと思います。

同和問題の市民意識調査（昭和61年実施）では、「自分に関係ないので関心がない」が17%、
「差別は自然になくなる」が34%で、その他を含めて半数以上の人が消極的態度です。今こそ、心の窓に差別反対、人権尊重の息吹きを大きく吸い込んで、明るい社会の実現に努めたいものです。



繭の初出荷 (波多津町)



伊万里市農協井野尾出張所で6月9日、繭の出荷が始まりました。繭は6月から10月まで年6回出荷され、この日は4,500匁の繭が宮崎へ出荷されました。

値段は1匁当たり2,700円で、去年(2,100円)より30%近く高いそうです。市農協では、年間2万2,000匁を出荷し、売り上げ5,000万円を目標にしています。市内では、波多津町木場と開拓地区の24戸で養蚕が行われています。

カブトガニ産卵地清掃



伊万里ライオンズクラブ(森 友宏会長、68人)の会員40人が6月15日、カブトガニの産卵地として市の天然記念物に指定されている木須町の多々良海岸を清掃しました。

生きた化石と呼ばれるカブトガニの産卵期は、6月下旬から8月中旬で、満潮時につがいやってきます。同クラブは、カブトガニを守る会(小島 京会長)の中心的団体で、15年間清掃を続けています。この日も、海岸一帯に流れついた動物の死がいや木片、空き缶などを回収。ふるい器で貝殻など取り除き、産卵しやすいように砂をならしました。集めたゴミは、米袋16個分もありました。

カラオケ発表会 124曲を熱唱

カラ研YMG(山崎文丸会主、立花町富士町)の第3回発表会が6月4日、市民会館で開かれました。

カラ研は、伊万里を中心に有田、武雄、嬉野に24教室があり、愛好者200人が練習に励み、ボランティア活動として長生園、向陽園などの老人ホームの慰問や土曜夜市にも参加しています。

発表会は、「演歌一筋」のテーマで190人が124曲に自慢ののどを披露しました。中にはプロ歌手顔負けの舞台衣装で熱唱。出演した中年の婦人は「声を出すのは健康にもよいし、好きな曲を歌えば気持ちがすっきりします」と満足の様子でした。



車イスでゲートボール大会

西日本車イスゲートボール大会が5月26日大坪公民館で開かれ、大分県を除く九州各県と沖縄、山口県から16チーム、約100人が参加しました。参加者は、車イスを上手に操り、見事なスティックさばきを披露しました。

大会には今年からボランティア活動を始めた退職女教師の会伊万里支部(飯田若子代表、23人)のメンバー10人も参加。荷物運びやお茶出しなど裏方をつとめました。



松浦小で 待望のプール開き



初夏を迎えて市内の各小学校でプール開きがありました。6月9日は、松浦小学校（小嶋一郎校長、297人）のプール開き。

当日は、今にも降り出しそうな曇り空で、気温23度、水温25度と裸ん坊にはちょっと肌寒い天気でしたが、待ちに待ったプール開きに子どもたちは大喜び。

準備運動のあと、水泳クラブの模範水泳を皮切りに学年ごとに次々とプールに入り、初泳ぎを楽しみました。1年生は初めて経験するプール。上級生の声援を受けて小プールで「水中かけっこ」。「深かったけどこわくなかった。気持ちよかったー」と興奮気味に話してくれました。

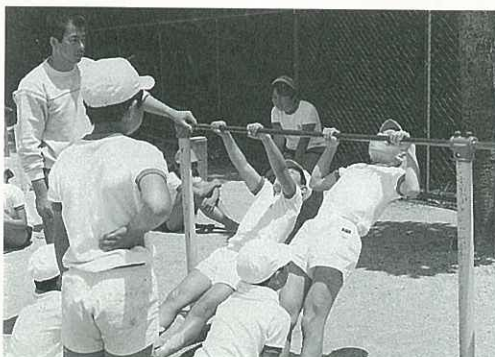
がんばれ伊万里っ子

全国平均下回る運動能力

市は、毎年小学5・6年生と中学生の運動能力テストや体力診断テストを実施して結果を分析。児童・生徒の体力や運動能力の向上に役立てています。

市教育研究会小学校体育部会でまとめた昭和63年度の「子どもの体力」によると、運動能力では小中学生とも限られた種目を除くと、ほとんどが全国平均を下回り、体力診断テストでも、背筋力や握力などの筋力や柔軟性に劣っています。

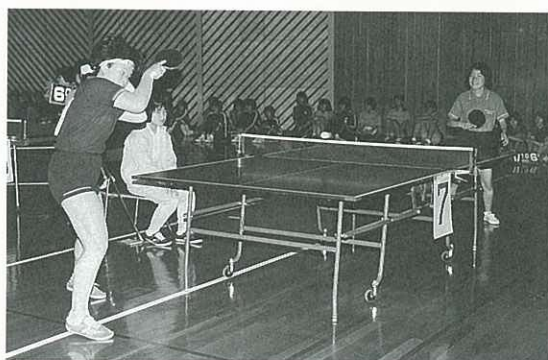
このため、授業の中に基本の運動や鉄棒運動を多く組み入れるなど、対策がすすめられています。



◎六月十二日、伊万里小学校で実施された運動能力テスト(斜め懸垂)

市近郊中学校卓球大会

南波多中(経)が優勝



市卓球協会（松尾和人会長）主催の伊万里市近郊中学校卓球大会が6月11日、国見台体育館で開かれ、県内外から男女あわせて28チーム、168人が参加しました。

中学校では市外のチームとの交流試合が少なく、この近郊大会では初めて対戦する学校もあって刺激があると、各チームとも熱戦を展開しました。団体戦、個人戦の優勝は、次のとおりです。（敬称略）
男子（団体）福島中 （個人）原口貴志（福島中）
女子（団体）南波多中 （個人）筒井愛子（南波多中）

市スポーツ少年団交流大会 ソフトとグラウンドゴルフ

6月18日、市スポーツ少年団交流大会が国見台運動公園で開催され、600人の子どもたちがソフトボールとグラウンドゴルフを楽しみました。

大会には、55チームが参加。球技と球技外の部に分かれて行われ、少林寺拳法や剣道、陸上に参加した球技外の部では、珍プレーが続出し、父母などの応援



◎ ナイスショットノタマゴ



援団を巻き込んだの大熱戦となりました。

優勝チームは次のとおりです。

●ソフトボール

(球技の部)

山代西球友会

(球技外の部、パート別)

東山代子ども陸上、前平剣道、
牧島剣道(中学生)

●グラウンドゴルフ

(球技の部)

二里少年野球

(球技外の部)

伊万里ライオンズ陸上B

伊万里中女子が優勝

市近郊中学校バレーボール大会

第8回市近郊中学校バレーボール大会が6月18日、国見台体育館(男子)と伊万里中体育館(女子)で開催されました。

大会には、伊万里市8校、松浦市3校、鷹島町1校、福島町1校、あわせて13校が参加して熱戦を繰り広げました。男子は鷹島中が、女子は伊万里中がそれぞれ1セットも落とさずストレートで優勝しました。

成績は、次のとおりです。

(男子)

- 優勝 鷹島中
- 2位 伊万里中
- 3位 南波多中、福島中



◎準決勝戦(伊万里中対福島中)

(女子)

- 優勝 伊万里中
- 2位 青島中
- 3位 松浦中、福島中

7月のスポーツ

2日(日)

- 東山代町民軟式野球大会
7時半 東山代小、九州電子

9日(日)

- 大坪地区子ども会ソフト大会
7時半 立花小学校

- 大川内町子ども会ソフト大会
8時半 大川内小

- 大川町民球技大会
7時半 大川小、大川中

16日(日)

- 二里町民ソフト大会
8時半 二里小学校

- 二里町民婦人ミニバレー大会
8時半 二里小学校

30日(日)

- 大坪地区部落対抗球技大会
8時 大坪小学校、伊万里中

井手健二選手と

いっしょに走ろう

月例陸上記録会 10周年記念大会

伊万里市における長距離界の底辺拡大を目指して昭和55年に始められた市月例陸上記録会が、今年で10年目を迎えます。

市陸上競技協会は、日本のトップランナーとして活躍し、輝かしい経歴をもつ伊万里市出身の井手健二選手を招待し、10周年記念大会を開催します。

- 日時 7月14日(金)

男子 5,000円 18:30スタート
女子 3,000円 17:45スタート

- 会場 国見台陸上競技場
- 参加料 無料
- 申込み 当日、会場で

伊万里・オランダフェスティバル'89

ミス伊万里コンテスト

日蘭修好380周年を記念して開催する「伊万里・オランダフェスティバル'89」で、ミス伊万里を募集します。自薦、他薦は問いません。ふるってご応募ください。

- 選出部門 まつりの女王・やきものの女王・フルーツの女王
- 応募資格 市内に居住する満18歳以上25歳以下の未婚の女性（高校生を除く）で、諸行事に参加できる人
- 服装 自由。最終審査は水着着用のこと

★星帰「古伊万里展」8月3日～12日 歴史民俗資料館、中央公民館

★伊万里みなとオランダ祭 8月4、5、6日 駅通り～いすい通り

★伊万里とオランダの歴史を語るシンポジウムと日蘭交流作品展
8月5日・8月3日～12日 市民会館と伊万里公民館

- 選考日 7月30日（日）
- 表彰 認定書、トロフィー
- 副賞 賞金、沖縄旅行、化粧品セットその他
- 応募方法 市販の履歴書に必要事項（身長、体重、スリーサイズ、自己PRなど）を明記し、最近6か月以内に撮影した正面上半身写真、または顔写真（Eサイズ、カラー）1枚を同封してください
- 申込先 市商工観光課
(☎2111 内線354)
- 申込締切 7月22日（土）

国民健康保険税 税率が変わります

昭和63年度は、国民健康保険税の税率を据え置いていましたが、高齢化社会の進展、医療費の増加などにより国民健康保険事業の財政運営が、極めて厳しい状況にありますので、平成元年度分の税率を次のように改正しました。

	63年度	元年度
所得割	5.7%	6.7%
資産割	35%	41%
均等割(1人当たり)	16,700円	20,100円
平等割(1世帯当たり)	19,300円	22,700円

また、課税限度額40万円が42万円に引き上げられました。

※詳しいことは、税務課市民税係へお尋ねください。

(☎2111内線232、238)

市連盟会長杯争奪

綱引大会

県体予選を兼ねた市綱引連盟会長杯争奪大会を開催します。

- 日時 7月30日（日）
午前9時
- 会場 国見台体育館
- 参加料 1チーム 2,000円
- 種目
一般男子（19歳以上）
1チーム8人、600kg以下
一般女子（19歳以上）
1チーム8人、制限なし
- 履物 運動靴、地下たび等
- 申込締切 7月20日（木）
- 申込先 市企画課内事務局
山本まで（☎2111内線402）

あてな書きアルバイト

に“ご注意”

「家事の合間に1日〇〇時間働くだけで高収入が可能」とか「ボールペン1本でできます」など、新聞折り込みや雑誌の広告で募集しています。仕事の内容は単純なあてな書きのアルバイトのようにみえますが、指導書やダイレクトメール用はがき代、カタログ郵送料などの経費を自己負担し、注文のあった分についてマージンの支払いを受けるという成功報酬型の内職です。解約を申し出ても応じてくれず、被害の訴えや相談がされています。ご注意ください。

親子パソコン教室

受講者募集

- 期間 7月23日～8月27日の毎週月、火、木、金曜日
昼の部 13時30分～15時30分
夜の部 18時30分～20時30分
- 会場 中央公民館
- 対象者 市内の小学4年～中学3年までとその保護者
- 定員 20組（昼、夜各10組）
- 受講料 無料（ただしテキスト代は実費を負担）
- 申込期限 7月15日（土）
- 申込先 中央公民館各町公民館

※詳しいことは、中央公民館へお尋ねください（☎7105）

老後に光 国民年金の任意加入

「もうすぐ60歳になるけど国民年金の納付期間が足りないの
で年金を受けられない」という
人は、5年以内の不足であれば
60歳から65歳までの間に不足分
の保険料を納めていけば年金が
受けられるようになります。

また、年金を受ける資格はあ
るが、過去に保険料の未納期間
があるので、少額の年金しか受
けられないという人は、60歳か

ら再加入して65歳になるまで保
険料を納めていけば、より多く
の年金を受けることができます。

ただし、厚生年金の被保険者、
共済組合の組合員及びその被扶
養配偶者、または老齢基礎年金
の繰り上げ支給を受けている人
は加入できません。

※詳しいことは、市民課年金係
へお尋ねください。

(☎2111 内線215、220)

生活のすべてに安全を



7月1日は
国民安全の日です。

ハンドボールクラブ

会 員 募 集

伊万里ハンドボールクラブの
男女会員を募集しています。現
在会員は12人。ほとんどが初心
者です。あなたも参加してみま
せんか。

- 練習日 毎週月曜日
- 時 間 午後8時～10時
- 会 場 立花小学校
- 申込先

⑩坂井京子さん (☎2166)

⑩南里末一さん (☎2169)

悩 み……心 配

巡回婦人相談

家庭内での心配ごと、悩みご
と、一人ではどうしても解決で
きない問題をお持ちではないで
しょうか。婦人相談所は、婦人
の幸せのため、いっしょになっ
て考え、問題解決にあたります。

料金は無料で、秘密は守られ
ます。お気軽にお出てください。

●日 時 7月26日(水)

表にとびだした美術館の

アマチュアフォトコンテスト

- テーマ 「表にとびだした美
術館」に関する写真
- サイズ キャビネ～四ツ切り
- 応募数 制限なし
- 締 切 7月26日(消印有効)
- 応募方法 作品の裏側に、題名、
住所、氏名、生年月日、性別、
職業、電話番号を記入
- 主 催 伊万里アクティブ21
- 版 権 入賞作品の著作権は、

今月の市民相談

場所:市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

- 法 律 6. 20(木)
- 社会保険 7.14.21.28(金)
- 交通事故 11. 25(火)
- 行 政 19(水)
- 人 権 6(山代公) 12(水)
- 身障者 26(水)
- 青少年 27(木)
- 消費生活 3.10.17.24.31(月)
- 婦人就業 5.12.19.26(水)

7月の市民会館行事

- 13日(木) 13時半 無料
社会保険事務説明会
- 16日(日) 13時半 会員制
古哲リズム・ワンダー
- 17日(月) 9時半 400円
老人慰安演芸会(筒井芸能)
- 30日(日) 10時 無料
ピアノ発表会(宮地佳奈子)

10時～15時

- 会 場 市役所1階
第一会議室

- 主催者に帰属します。
応募作品は返却しません。
- 入賞発表 オランダフェスティ
バルの期間中に発表
- 賞 市長賞ほか各賞を準
備しています
- 申込先・問合せ
市内新天町662 伊万里市観
光協会「アマチュアフォトコ
ンテスト」係 (☎6820)

少年相撲大会

黒川小6年、国見中が初優勝

6月4日、国見台相撲場で少年相撲大会が開かれました。相撲の普及と青少年の健全育成を目的として、市相撲連盟と防犯協会が主催し毎年開かれています。友達や先生、お母さんたちの大声援に、250人の豆力士が土俵せましと暴れまわりました。



◆中学団体で初優勝の国見中(左から緒勝方君、池田君、藤君)



大会の結果は、次のとおりです。

<団体戦>

- 小学5年の部
 - ①伊万里②大川③松浦
- 小学6年の部
 - ①黒川②立花③山代西
- 中学の部
 - ①国見②伊万里③山代

<個人戦>

(敬称略)

- 5年 ①谷口武史(松浦)
- ②片町 匠(伊万里)③松本竜治(大坪)



◆小学六年優勝の武重君(牧島小)「勝てるとは思わなかった」

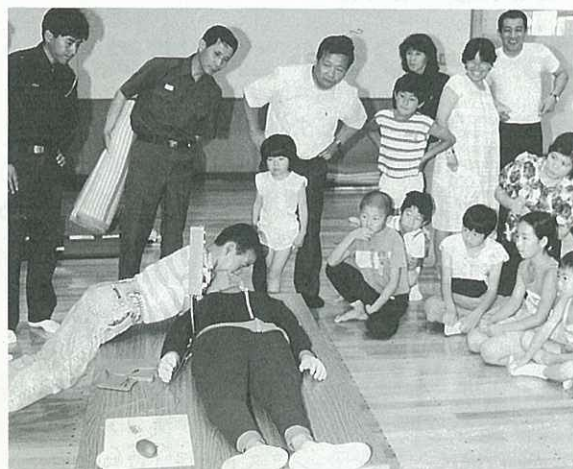
- 6年 ①武重真司(牧島)
- ②古賀雄三(松浦)③吉崎雅樹(山代東)
- 中1 ①藤本太一②吉崎 努(以上山代)③山田英文(国見)

- 中2 ①高峰 寛②吉弘将章(以上山代)③緒方友洋(国見)
- 中3 ①吉崎 崇(山代)
- ②小柳力哉(伊万里)③藤正弘(国見2年)



◆小学五年優勝の谷口君(松浦小)「やったー。うれしい」

本町子ども会で 救急法を勉強



6月11日、本町子ども会ジュニアリーダー教室の救急法講習会が伊万里公民館で開かれ、子どもたちやお父さん、お母さん約30人が参加しました。

夏休みを前にして、キャンプや海水浴などで事故にあったときに、自分たちがだれでもできる救急法を身につけようと開かれました。

講師には、市消防本部の草野一夫救急通信係ら3人があたり、止血法やタンカの作り方などをわかりやすく教えました。特におぼれて1分以内に人口呼吸を行うと97%、2分以内ならば90%の人が助かるということで、救急隊が到着する前に自分たちで人口呼吸ができるようにと、人形を使って一人ずつ実際に息を吹き込み、人口呼吸のやり方を勉強しました。